

単元名 季節と生き物

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 春の生き物の成長や活動を理解するとともに、器具などを正しく扱って観察を行い、得られた結果を分かりやすく記録することができる。
- (2) 春の生き物の成長や活動について、主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 春の生き物の成長や活動について、進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

04050102_001

【準備等】 虫眼鏡、ものさし、タブレットパソコンやデジタルカメラ、温度計、下敷き、種子、ビニルポット、土、移植ごて、捕虫網、虫かご、模造紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 春に見られる生き物に関心を持ち、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの植物や動物の様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・サクラに花が咲いたよ。 ・他の生き物には、どんな変化が見られるのかな。 ★春になって見られる生き物をかんさつしよう。 ○観察記録のとり方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・観察するもの、自分の名前、日時、天気、気温を書く ・観察したものを絵で表す。 ・スケッチは、大きく、形を1本の線で描く。 ・観察したものについて、言葉での説明や思ったことを書く。 ○気温の測り方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・地面から1.2～1.5mの高さ ・温度計に直に日光が当たらない場所 ・風通しのよい場所 ○春になって見られる生き物を観察する。 <ul style="list-style-type: none"> ＜サクラ＞ <ul style="list-style-type: none"> ・木全体の様子 ・花の形や色、大きさ ・えだの形や色 ＜他の植物や動物＞ <ul style="list-style-type: none"> ・形や色、大きさ ・鳴き声など <p>3 1年を通して調べていく生き物を決め、植物の成長や動物の活動について、継続的に調べていく観察の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時に観察した植物や動物をもう一度観察し、どのような変化があったか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・サクラは、花を咲かせた後、葉を出しているよ。 ・他の植物は花を咲かせているよ。 ・いろいろな昆虫も見られるね。 ・春になったことと関係があるのかな。 ★季節によって、植物や動物の様子は、どのように変わるのだろうか。 ○植物の成長や動物の活動が、季節とどのように関係しているか予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・植物は、夏になると、大きく成長すると思う。なぜなら、3年生のとき、暑い季節にハウセンカが大きく育ったから。 ・動物は、夏になると、活発に活動すると思う。なぜなら、3年生のとき、暑い季節にいろいろな昆虫を観察したから。 ○1年間調べていく動物や植物、観察する場所を決めて、継続的な観察を計画する。 <ul style="list-style-type: none"> ・(植物) サクラ、ヘチマなど ・(動物) ツバメ、バッタなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・春になって、冬の頃とどのように変わっているか考えさせる。 ・教科書P.10～11を参考にさせる。 ・教科書P.13の「観察記録のとり方」を参考にさせる。 ・観察カード（もしくは、理科ノート「観察と実験」）を使用することを確認させる。 ・第3学年で植物を育てたときのことを想起させるとよい。 ・絵で表す際は、「えんぴつで形をかく」、「色をぬる」、「大きさをはかって記録する」ことを押さえる。 ・観察カードを使用する場合は、透明な袋に入れ、壁に掲示して学級全体で共有できるようにするとよい。 ・生き物を記録する際、他の季節との比較をするため、タブレットパソコンのカメラやデジタルカメラで同じ場所の撮影をしておく。 ・教科書P.12の「気温のはかり方」を参考にさせる。 ・「温度計の使い方」は、第3学年「太陽と地面」で学習している。 ・サクラは1年を通して観察するため、必ず観察記録をとるようにする。 ・植物の成長について、同地点での同一の対象を、定期的に観察するようにする。 ・気温も測らせる。 ・（安全）温度計の扱いに留意させる。 【評】生き物を観察する様子から、「知識・技能」を評価する。 ・最初に観察してから2週間経ったサクラを観察させ、どのような変化があるか考えさせる。 ・他の植物や昆虫も観察させる。 ・問題に対する答え（結論）を予想するときには、これまでに学んできたことや、身の回りで見られることを基にして、どうしてそのように考えたのか（理由）をはっきりさせることを意識させる。 ・自分の予想とそう考えた理由を伝えるときの話を、教科書P.16を参考に押さえる。 ・身近で季節による成長の変化が明確な植物と身近で危険のない動物を、それぞれ2種類以上観察するようにする。 ・観察する生き物については、子どもの考えを尊重しながら、教師側で季節によって変化が見られる生き物についてまとめていく必要がある。 ・観察場所は、子どもが安全に観察できる場所

4 ヘチマの種子をまき、ヘチマの成長を定期的に観察する観点について確認する。

- 前時を振り返る。
 - ・これからヘチマを育てていくんだっけ。

★ヘチマの成長について調べよう。

- ビニルポットにヘチマの種子をまく。

- 定期的に観察する観点について話し合う。

- ・2週間に一度観察記録をとる。
- ・草丈はどうか。
- ・葉の数や形、色、大きさはどうか。
- ・つぼみや花、実はあるか。

5 ヘチマの植え替えをする。

- 葉の数が3～4枚になったヘチマの観察をする。

- ・そろそろ植え替えだね。

★ヘチマの植えかえをしよう。

- ヘチマの植え替えの仕方を知る。
 - ・苗はポットから取り出して植える。

- ヘチマを植え替える。

6 観察の計画を基に、調べる昆虫や鳥について、活動の様子を記録する。

- 計画を振り返る。
 - ・ツバメやバッタを観察するんだっけ。

★こん虫や鳥などの活動について調べよう。

- 観察の計画に従い、校庭や学校の周りなどに出かけ、昆虫や鳥の活動の様子を記録する。
 - ・活動の場所
 - ・巣作り

- 観察した結果を基に、春の昆虫や鳥の活動で分かったことや疑問に思ったことを発表し合う。

- ・小さいバッタの幼虫が見られた。
- ・ツバメが巣を作り、卵を産んでいた。

7 これまでの観察記録を基に、春の生き物の様子について総合的にまとめる。

★春の生き物の記録を整理しよう。

- 春に調べてきた観察記録を整理する。

- 次の季節への見通しをもつ。

- ・サクラの小さい葉が大きくなって、全体が葉でいっぱいになると思うよ。
- ・ツバメのひなが見られるようになると思うよ。

と範囲を指定する。

- ・第3学年でホウセンカを育てたことを想起させ、春にヘチマの種をまくように促す。

【評】調べる動物や植物の計画を立てる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・種のまき方は、教科書P.19を参考にさせる。

- ・ヘチマの代わりにツルレイシで調べていくことも可能である。
- ・天気や気温も記録させ、成長の変化と気温の関係を調べていくことを確認する。
- ・タブレットパソコンのカメラやデジタルカメラで撮影しておく。

【評】ヘチマの観察の仕方について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・ヘチマの植え替えの仕方は、教科書P.20を参考にさせる。

- ・育ってきたら支柱を立て、茎を支えることを押さえる。

【評】ヘチマを植え替える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・観察する動物について確認するため、第3時を振り返らせる。

- ・（安全）ミツバチやチャドクガの幼虫などの危険な虫には触れたり近付いたりしないよう十分注意させる。
- ・タブレットパソコンのカメラやデジタルカメラで撮影しておく。

【評】昆虫や鳥の観察を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・たくさんの生き物が活動していることに気付かせる。

- ・教科書P.23を参考にさせ、植物の成長や動物の活動を、サクラ、ヘチマ、昆虫、鳥などに分けて整理し、季節ごとにまとめていく。
- ・タブレットパソコンのカメラやデジタルカメラで撮影してきた写真を整理させる。

- ・記録の整理は、個人、グループ、全体でまとめるなど、児童の実態に応じて工夫する。

【評】春の植物と昆虫や鳥の様子をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

- ・1年を通じて動物の活動や植物の成長をそれぞれ2種類以上観察するものとする。

< 関連 >

- ・第3学年「生き物を調べよう」「植物を育てよう」「チョウを育てよう」「こん虫の世界」
- ・第5学年「植物の発芽や成長」「メダカのたんじょう」「花から実へ」